応募期限　３月１３日（火）

鳥取県立美術館整備基本計画（中間まとめ素案）

についてご意見をお寄せください！

鳥取県では、次代を担う子どもたちが優れたアートと出会い想像力や創造性を育む場、地域に根差し県民のアイデアと愛情で運営される「私たちの県民立美術館」として県立美術館を整備するため、基本計画の策定を検討しています。

このたび、中間まとめ素案を作成しましたので、県民の皆さまのご意見をお寄せください。

【アートリピー】

基本計画（中間まとめ素案）の概要

〇美術館の目的・コンセプト

「私たちの県民立美術館」→　未来を「つくる」美術館（・人を「つくる」・まちを「つくる」・県民が「つくる」）

〇必要な機能

・中心となる機能

- あつめる・まもる（収蔵）
- ふれてまなぶ・であってまなぶ（館内外での教育普及）
- しらべる・ふかめる（調査研究）
- つなぐ（地域・学校・県民との連携・協力）
- つたえる・たのしむ（展示）

・美術ラーニングセンター（仮称）の設置

→想像力・創造性を育むための「美術を通じた学び」の支援

・鳥取県ミュージアム・ネットワークによる美術館等連携

→県内どこでも美術館サービスが享受できる環境づくり、「とっとりのアート」の県外発信力強化

〇施設整備計画

・諸室の整備概要

展示	収蔵	教育普及・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	調査研究	共用管理事務	合計
2,610 ㎡	2,070 ㎡	760 ㎡	290 ㎡	4,180 ㎡	9,910 ㎡

・敷地利用計画

倉吉パークスクエア内の施設と一体となったイベント開催による賑わいの創出に配慮

大御堂廃寺跡との連携により、どの方向からも気軽に立ち寄りやすいオープンな施設

・整備費用の想定

建築工事費 77 億円（基本構想時の試算 60 億円～100 億円）・その他経費 20 億円

（PFI 手法導入可能性調査に併せて具体的な整備手法について効率化を図ることを検討）

〇基本計画の実現に向けて

・平成 30 年 4 月以降に整備手法を決定し、施設整備に向けた準備を行い、設計・建設に着手する。

・「私たちの県民立美術館」を実現するため、県民ボランティア等、美術館の活動を支える方々と一緒に『未来を「つくる」』美術館を目指す。

現在～設計段階 → 建設段階 → 建設完成～開館段階

美術館機能の先行展開（美術館づくりワークショップ、美術館等連携、美術ラーニングセンター）

関係団体等との連携、美術館サポーターとのネットワークづくり、一体となった開館準備

鳥取県立美術館整備基本計画（中間まとめ素案）に対する【意見応募用紙】

基本計画の閲覧方法

・県立博物館のホームページからダウンロードできるほか、県庁県民課、各総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局、東部・八頭庁舎、県立図書館および各市町村役場でも閲覧できます。
・ホームページアドレス：http://www.pref.tottori.lg.jp/272984.htm

応募方法

・電子メール、郵送又はファクシミリでお寄せいただくか、意見箱への投函（右記県の機関）及び市町村役場窓口のいずれでも応募できます。
・提出様式は自由です。このチラシも利用ください。

結果の公表

・いただいたご意見への対応については、後日、とりまとめてホームページ等で公表します。

《応募・問合せ先》
鳥取県立博物館　美術館整備準備室
郵送：〒680－0011　鳥取市東町2丁目124
電話：（0857）26－8042
ファクシミリ：（0857）26－8041
電子メール：hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

ご意見記載欄

差し支えなければ、下記もご記入ください。

お住まいの市町村	鳥取県　　市・郡　　町（以下、住所不要）
年代	□１０歳代　□２０歳代　□３０歳代　□４０歳代 □５０歳代　□６０歳代　□７０歳代　□８０歳代以上
性別	□男性　□女性
１年間にどれくらい美術館やギャラリー等に行きますか。	□行かない　□１～２回　□３～５回　□６回以上